

2019年12月10日

日伯交流委員会 2019年度 通年活動報告

委員会メンバー

委員長 安田 篤 (Sompo Seguros)

副委員長 藤代 泰輔 (Nippon Express)

副委員長 岡本 将紀 (Sompo Seguros)

2019年通年活動方針 (太字) ★は主な活動報告

- 日本・ブラジル両国間の新たな共存関係を展望した基盤の構築

⇒2018年の日本移民110周年行事に続いて、2020年東京五輪や2025年大阪

関西万博等を見据えた日伯間の人的交流機会の発掘

★移民史料館セレモニー開催 (4月30日)

会議所会員企業より多数の協賛を得て、改装一期工事が完了

(計30社超、協賛金合計 約R\$3.5MM)

★COB (ブラジルオリンピック委員会) による2020年東京五輪対応
発表会対応

★大阪関西万博招致に向けた情宣活動の展開

★国際交流基金による日本語スピーチコンテストへの協力

- 日系諸団体、青年会議所等との連携・相互交流機会の強化を通じた共同イベントの開催並びに次世代における日伯間の人的な関係強化を視野に入れた施策の企画の立案・実行

⇒日系諸団体や青年会議所及びその他ブラジル諸団体との連携や共同イベントの開催等を通じた知日派・親日派のブラジル人人材の発掘

★第22回フェスティバルジャパン (県連)

★サンパウロ大学における講座開設、日本留学等を通じた次世代交流の促進 →フジタ・ニノミヤチェア創設

★本邦大学との連携の一環として、覚書締結済みの筑波大、明治大に加え、世界展開力強化の観点で東京外大、東京農工大、電気通信大の学生インターン受入実施（4社）

3) ジャパンハウス（以下JH）と会議所会員企業との有機的な連携並びにJHの持続的な運営に資する具体的な提言の発信

- 3極のJHを念頭に置いたグローバルスポンサー企業を模索しつつ、会員企業との共存共栄を意識した施策の提言

★目先5年間（2019年—2024年）の事業継続、政府予算配賦が決定

★年間協賛会員企業4社決定（ダイヤモンド会員2社、ゴールド会員2社）

★運営委員会メンバー一部変更（フルラン元商工相、石川文協会長、セザー

サンパイオ元サッカー選手等）

★2020年4月以降の3代目館長選任に関わる意見具申

以上